



週報



所沢西ロータリークラブ

R I 第 2 5 7 0 地 区 第 3 グ ル ー プ

会 長 鈴木真澄 ■ 会長エレクト 内田 学
幹 事 堀江 大
クラブ管理運営委員長 高橋和男

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122
事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666
例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1392 回例会 2015・4・28

卓 話	例会当番	記念祝福
4/28 RLI ローターリーダーシップ 研究会について 会長エレクト 内田 学様	鈴木 伴忠	
5/5 例会取止 定款第 6-1-C		
5/12 低燃費エンジンについて	関根 克末	

■出席報告	
月 日	4/14
会員数	36
出席者	30
出席率	83.3%
前回修正	86.1%

会長の時間

鈴木 真澄

先日 4 月 9 日に三芳にある石坂産業さんに見学に行ってきました。

5 月 19 日に卓話をお願いしていますが、少しお話をしたいと思います。

産廃業ですが建築廃材のみを扱っているようです。

現在は素晴らしい会社になっているのですが、最初はダイオキシンでほうれん草や、お茶に営業があると問題が広がった時がありましたが、その時に近隣から汚い物、何か悪い事でもしたかのように、その場から出て行くように言われ、社員が半分ぐらい退職してしまったのがきっかけで、会社を変えて行ったとのことでした。

敷地面積は東京ドームの 3、5 倍あるそうです。その敷地は地権者が異なるのもあるようですが、全て下草を取り、綺麗に森の伐採をし、石坂産業さんが森を守っているとのことでした。

一番感心したのは社員教育が徹底していて、見学中、全ての社員が大きな声で挨拶をして、とても明るい事です。

ほとんどが機械化されていますが、ベルトコンベアー式で材料が流れてくるところでは、かなり手作業があり、きれいな作業とは言いがたいのですが、社員の作業状況を見ると、そんなことは微塵も感じさせないで作業しているところは感動させられました。

いま企業では社員教育が大事であると言われて、教育を徹底し、お客様から信頼される企業となることで、企業業績に繋がっていくと言われて、その模範企業でした。

三富今昔村、江戸・元禄時代から三世紀を超えて伝えられてきた自然と文化をそのままに伝えるが、コンセプトだそうです。

周りの森をきれいに伐採し、池をつくったり、くぬぎの森カフェがあったり、そこで見学者に手作りケーキとコーヒーを御馳走にするとのこと、私たちが心のこもった接待をして戴きました。

あまり話すと卓話と重複するかもしれませんが、今進めているのが「三富今昔村くぬぎの森交流プラザ」を OPEN することだそうです。

これは瓦屋根の日本建築の建物でしたが、PTA、

仲間の親睦会、親子のお楽しみ会、社員研修等に無料で利用できる交流の場としての施設のように、地域貢献も充実していて素晴らしい会社です。

卓話には石坂専務さまが来て頂けるようですので、楽しみにして頂きたいと思えます。

幹事報告

堀江 大

♥Rotary 国際大会の最新情報

♥ハワイよねやま 181号

♥[RIJO-FAQ] 2015-16年度の会員増強目標の算出方法 (5月1日締切)

♥第4回会員増強セミナー：会員の積極的参加と会員維持

♥週報・・・新所沢 RC、入間南 RC

ニコニコボックス

師岡 友次

鈴木 真澄 高麗様 本日は卓話宜しくお願ひ致します。

堀江 大 高麗様 本日よりしくお願ひ致します。

内田 学 高麗神社様 宜しくお願ひ致します。

19日の地区大会役員の方々宜しくお願ひ致します。

室伏 秀樹 霊亀2年(716年)に建部 1300年行事でお忙しいところ、高麗宮司様卓話を宜しくお願ひ致します。

本橋 正夫 今回の県議会議員 選挙 大変御世話になりました。まだ、市会議員選挙もあります。自民党の関係の方々を宜しくお願ひ致します。

平岡 徳大 前回 欠席申し訳ない。

栗原 和明 前回欠席しました。申し訳ありません。

石井 秀夫 前回欠席しました。

卓話 <高麗郡建郡1300年に当って>

高麗神社宮司 高麗文康様

皆様こんにちは、高麗神社宮司の高麗文康です。本日は、「高麗郡建郡1300年に当って」ということでお話しをさせていただきます。

ところで、皆様高麗郡という名前をお聞きになったことがありますか。ほとんどの方はご存じないと思いますが無理ありません。120年前に廃止されておりますので……。実は高麗郡は霊亀2年(716)から明治29年(1896)まで現在の埼玉県西部地域の地名でした。範囲は日高市、鶴ヶ島市



の全域と飯能市、入間市、狭山市、川越市の一部を含む地域でした。

それでは、高麗郡の「高麗」とは何を意味するのでしょうか。『続日本紀(しよくにほんぎ)』には、その始まりが記されています。それによれば、東国7国(駿河、甲斐、相模、上総、下総、常陸、下野)にいた高麗人1799人を武蔵国に遷し高麗郡を置いた、ことがわかります。「高麗人」が遷されたので高麗郡となりました。

では高麗人はどこから来たのでしょうか。古代東北アジア各国の歴史書に「高麗」が記述されており、類推すると「高麗」とは「高句麗」を指すことがわかります。高句麗は紀元前37年に建国、668年に唐・新羅によって滅ぼされた国です。『日本書紀』によれば高句麗滅亡直前、高句麗から使節が遣わされ、その中に高麗神社の祭神で初代高麗郡長となった高麗王若光(こまのこきしじゃっこう)がいたことがわかります。高麗人の中には高句麗滅亡前後に日本に渡来し、土着した者たちもいたことがわかります。

その後、高麗人達は紆余曲折を経て、高麗郡にやってくるわけですが、その



始まりは未開地の開拓からでした。大変な苦労があったと推測できましょう。

我々は、当地に住む者として、高麗郡建郡1300年を契機に、当地を開拓した高麗人や先人への感謝の心を育み、より良い地域をつくる活動を行うため、社団法人高麗1300を立ち上げました。1300年の当該年を出発の年とするためPR活動を中心に行っていますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。 今週の担当 須澤 一男